

令和8年度家庭教育フォーラム開催要項

1 趣旨

子育て中の方をはじめ、乳幼児期の子供・家庭を取り巻く様々な立場の者が一堂に会し、乳幼児期におけるスマートフォン等との付き合い方やデジタル時代の子育てについて、講師と共に考えることを通して、親の育ちを応援するとともに、地域ぐるみで子育て・家庭教育を支援する基盤の形成を図る。

2 主催

広島県教育委員会

3 開催日時

令和8年10月4日（日）13時30分～15時15分（13時00分受付開始）

4 会場

T K P 広島本通カンファレンスセンター 3階 ホール3D
（広島市中区紙屋町2丁目2-12 信和広島ビル）

5 対象者

乳幼児の保護者、幼稚園・保育所・認定こども園職員、子育て支援・家庭教育支援に携わるボランティア、子育て支援・家庭教育支援行政担当者、その他関心のある方

6 定員

150名

7 費用

受講料：無料

8 申込期限

令和8年9月16日（水）

9 日程・内容

時 間	内 容
13：00～13：30	受付
13：30～13：35	開会行事
13：35～13：40	教育長メッセージ 「子育て家庭へのメッセージ」 広島県教育委員会 教育長 篠田 智志
13：40～14：50	講演 「脳科学の先生と一緒に考える～脳の発達とスマホとの上手な付き合い方～」 講師 東北大学 応用認知神経科学センター 助教 榑 浩平 氏
14：50～15：10	質問コーナー 「教えて！さかき先生！」
15：10～15：15	閉会行事

10 講師プロフィール



平成元年、千葉県生まれ。平成25年、東北大学理学部卒業。同大学大学院医学系研究科へ進学し、ニンテンドーDS用ソフト「脳トレ」シリーズの監修者として知られる川島隆太教授に師事。平成31年、博士課程修了。日本学術振興会特別研究員(PD)、東北大学加齢医学研究所助教を経て、令和6年4月東北大学応用認知神経科学センター助教となり、現在に至る。人間の「生きる力」を育てる脳科学的な教育法の開発を目指し、脳計測実験や社会調査で得られた知見をもとに、教育現場での講演、教育委員会の顧問、本の執筆などの活動も行う。現在は「スマホ依存」をテーマに、人類と科学技術が健康的に共生する方法を模索している。著書に「スマホはどこまで脳を壊すか」（朝日新聞出版）。

11 申込方法

次のいずれかの方法により「広島県電子申請システム」からお申し込みください。申込後に、電子申請システムでご登録いただいたメールアドレスに届く「申込完了通知メール」をもって申込完了となります。

(1) URL または二次元コードから申し込む場合

次の URL または二次元コードから、画面の手順に従ってお申し込みください。

(URL : https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=30073)

(2) 広島県のホームページから申し込む場合

- ①広島県のホームページで「広島県電子申請システム」を検索する。
- ②手続き名「家庭教育フォーラム」で検索する。
- ③「令和8年度家庭教育フォーラム」をクリックする
- ④画面の手順に従って申し込む。



12 参加決定

受講の可否について、令和8年9月25日（金）正午を目途にメールでお知らせします。期日までにメールが届かない場合は、お手数ですが「14 問い合わせ先」まで御連絡ください。

※申込多数の場合は、参加をお断りする場合があります。

13 その他

- ・急遽、フォーラムの開催が困難となった場合は、申込時に登録いただいたメールアドレス宛にお知らせいたします。広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター (kyoyoujic@pref.hiroshima.lg.jp) からのメールを受信できるよう設定をお願いします。
- ・会場に駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。
- ・お子様連れでの参加は可能です。ただし、託児サービスはありません。
- ・申込後に参加が難しくなった場合は、広島県教育委員会乳幼児教育支援センターまでメールでお知らせください。

14 問い合わせ先

広島県教育委員会事務局 学びの変革推進部 乳幼児教育支援センター（担当者：笹見・君岡）

電 話：(082) 513-5013

E-Mail : kyoyoujic@pref.hiroshima.lg.jp